

行政視察報告書

委員会名	議会運営委員会
参加委員	小林 克行委員長、武者 葉子副委員長、柳沢 浩之委員、 高橋 由信委員、金井 登美雄委員、宇佐美 誠委員、原田 大委員
日 程	令和 7 年 11 月 10 日（月）～11 月 12 日（水）
視 察 先	1 日目 静岡県磐田市 2 日目 滋賀県彦根市 3 日目 滋賀県近江八幡市

視察内容【1日目】

視察自治体	静岡県磐田市
視察項目	磐田市議会基本条例の特徴、広報広聴委員会、予算決算委員会について
概 要	現在、安中市議会では 2019 年に制定した「議会基本条例」の精査を行っています。これは議会におけるこれまでの活動を基本条例を基に一度見返し、更なる市議会の充実及び市政発展を図るものであります。また、安中市議会では市民の声をさらに市政に反映させるため、広報広聴委員会の設置を検討しています。これらの背景を踏まえ、磐田市議会の議会運営における取り組みが参考になると考え、今回視察することにいたしました。
説明内容	<p>○磐田市議会基本条例の特徴について</p> <p>【沿革】</p> <p>平成 24 年 議会基本条例の制定 基本条例に基づき議会報告会を開催（令和 5 年度まで）</p> <p>27 年 反問権を市長等に付与</p> <p>令和 4 年 議会基本条例逐条解説を作成</p> <p>【政策立案提言】</p> <p>条例に基づき、政策提案や提言がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策提案 平成 27 年 磐田市中小企業及び小規模企業振興基本条例 令和 5 年 「住民が自らの暮らしを良くする地域コミュニティの推進」に関する決議 6 年 磐田市健幸づくり及び地域医療を守り育む条例 ・政策提言 令和 3 年 磐田市産業振興計画に対する提言書（建設産業委員会） 4 年 地域コミュニティの推進に関する提言書（総務委員会） 6 年 ダイバーシティの推進に関する提言書（総務委員会） 防災減災に関する提言書（総務委員会） 中学校部活動の地域移行に関する提言書（民生教育委員会）

【反問権】

反問権とは議員の質問の内容が不明確な場合に、市長等が議員に問い合わせができる権利。

令和5年9月定例会の一般質問において初めて行使された。

〈メリット〉論点が明確になり、議論が深まる。質問と答弁がかみ合う。

※デメリットは特になし。

【文書質問】

提出は原則いつでもできるが会期中は一般質問・代表質問によらなければならない。また、質問できる内容も下記の場合に限定している。

①一般質問・代表質問に相当する内容とし、次の一般質問等までに待つことができない緊急を要する場合

②諸々の理由により一般質問等からはずさざるを得なかった事項で、次の一般質問等まで待つことができない場合

※過去に、新型コロナウイルス感染症に関する質問、台風の際に災害等対策会議に係る文書質問をしている。

【議員間討議】

議員間討議は、議員間の討議により議論を尽くして合意形成を図ることが目的。

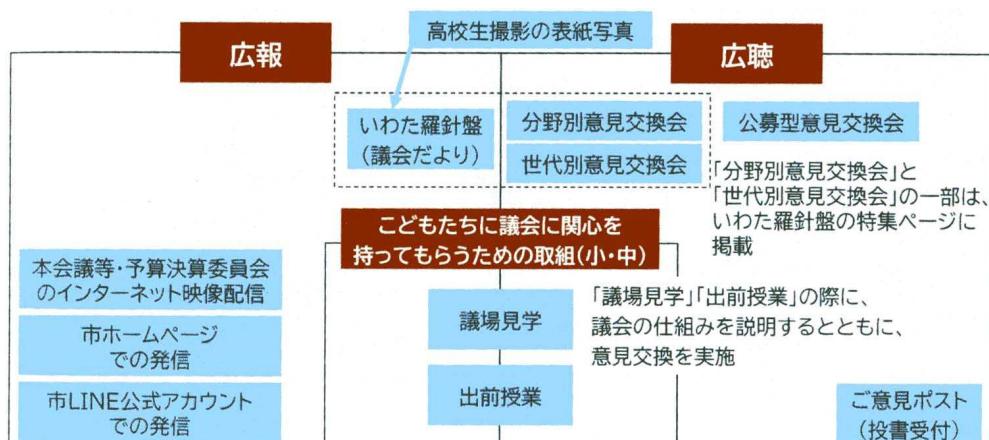
平成26年度の常任委員会において初めて実施された。

また、令和4年に2回実施されている。

○広報広聴委員会について

【組織概要】

目的：議会の広報広聴機能の更なる強化を専門的に協議・調査する体制を構築すること
定数：7人



【個別の活動内容】

1. 議会だより（いわた羅針盤）

年5回発行（定例会と臨時会）。高校生世代にも興味をもってもらうため、表紙は県内5校の高校生が撮影した写真を使用している。

2. 分野別意見交換会

所管事務調査の一環として、議会報告会に代わるものとして、今年度から実施している。

※各常任委員会が議会だよりの特集ページでおこなってきたインタビューを発展させたもの。

実績：総務委員会→「NPO法人磐田市スポーツ協会」
建設産業委員会→「磐田市農業委員会」

3. 世代別意見交換会

中学生や高校生、大学生の意見を受け止めるため実施している。参加人数によりグループに分かれて意見交換をする。

※広報広聴委員会が議会だよりの特集ページでおこなってきたインタビューを発展させたもの。

実績：広報広聴委員会→「静岡産業大学」

4. 公募型意見交換会

市民からの申込を受け、意見交換会を実施する。

実績：広報広聴委員会→「磐田南高等学校定時制」

5. ご意見ポスト（投書の受付）

市民からの意見を随時受け付けている。

実績：令和4年度 23件

令和5年度 20件

令和6年度 24件

6. 議場見学

こどもたちに議会に関心を持ってもらうための取り組みとして実施している。

・議会の施設について説明を聞きながら見学してもらう。

・議会のしくみについて、議員が説明。

・こどもたちに身近なテーマで模擬議会をする。

・議場見学後、意見交換をする。

・小・中学校を対象としたもの以外に「放課後デイサービス」などからも受け入れている。

実績：令和7年度 豊岡南小学校 6年生



磐田市議会だより「いわた羅針盤」2024年9月号より

7. 出前授業

こどもたちに議会に関心をもってもらうため、議員が各学校に出向きます。

・仕組みを説明

・説明後、グループワーク

・意見発表

実績：令和7年度 青城小学校 6年生



磐田市議会だより「いわた羅針盤」2025年9月号より

8. その他

- ・本会議、予算決算委員会のインターネット配信
- ・市の公式 LINE で市議会情報を発信

○予算決算委員会について

【沿革】

予算決算とともに、特別委員会を設置して審査していたが、予算は常任委員会である予算委員会に移行し、決算も平成28年度から常任委員会に移行した。

・予算

平成18年度まで、各常任委員会に議案を分割付託して審査

19年度から、予算特別委員会を設置し審査

23年度から、特別委員会を廃止し、常任委員会の予算委員会を設置するとともに、3分科会を設置して審査

・決算

平成17年度から、平成27年度まで、決算特別委員会を設置し審査

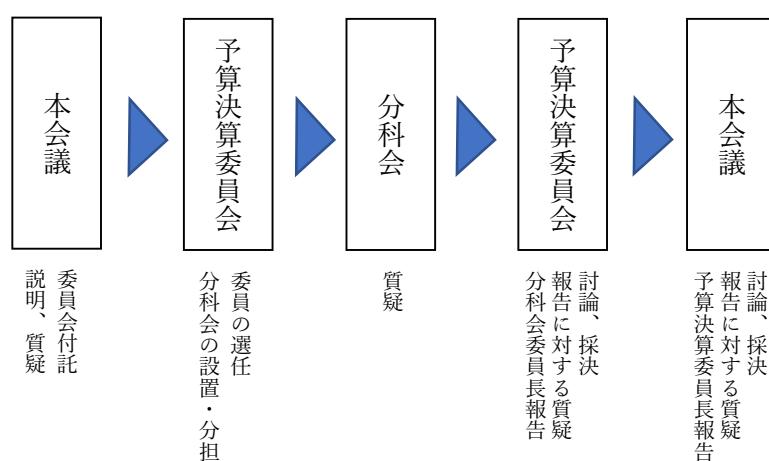
28年度から、予算決算委員会（3分科会：総務・民生教育・建設産業）を設置し審査 ※各常任委員会がそのまま分科会となる

【目的】

- ・分科会で分担審査を行うことにより、効率的な審査ができるようになる。
- ・予算と決算は連動しているものであり、決算審査を予算審査に活かし、予算審査を決算審査に活かすため。

【議事運営】

〈標準的な流れ〉



- ・原則1日に1分科会を開催
- ・分科会は最長5日間
- ・討論・採決は行わない
- ・分科会終了後、予算決算委員会を開催し、分科会の委員長報告・質疑・討論・採決を行う

質疑応答

- 質) 文書質問は個人ではなく会派で提出するものなのでしょうか。
- 答) 会派に所属していない議員がいなかったので、この時は会派で出すようお願いをしました。

	<p>質) 議会報告会やシティミーティングではグループワークをやっているようですが、参加者はどのように募っていますか。</p> <p>答) チラシを配るだけでなく、議員が声掛けをしっかりすれば参加者は増えますが、そうでなければ 2~3 人程度です。基本条例の見直しをきっかけに、現在は議会報告会ではなく、特定の団体等との意見交換会に移行しているので、グループワークでは活発に意見が出されています。</p> <p>質) グループワークを実施する上で、研修などは受けましたか。</p> <p>答) 講師を呼んでグループワークの研修を受けました。そのおかげで、ある程度はファシリテーションができたと思っていますので、一度は研修を受けた方がいいと思います。ファシリテーション協会というものがあるので、そこへの依頼すれば講師は来てくれるはずです。</p> <p>質) 議会改革における、議員間での温度差はありますか。</p> <p>答) 温度差は少なからずありますが、新人議員も多いので、話し合いを進めながら折り合いをつけつつ前に進めています。</p> <p>質) 予算決算委員会の分科会における項目はどのように分けていますか。</p> <p>答) 担当課で分けていて、特に一般会計は分科会ごとに分担表を作成して審査します。</p> <p>質) 分科会と常任委員会が同じ日ですが、どのような審査の仕方をするのでしょうか。</p> <p>答) 基本は委員会の判断にゆだねています。</p> <p>質) 委員会に市長等は出席しますか。</p> <p>答) 委員会に市長は出席しませんが、副市長は 3 委員会とも出席しています。教育長は民生育委員会のみ参加しています。議会側から参加を求めているわけではありません。</p>
委員長所見	<p>磐田市議会では、まず、議会基本条例に基づき実施している政策立案提言や反問権、文書質問、議員間討議などについて学びました。議員間討議は安中市議会でも規約はありますが実施には至っていません。その他の施策も議会の充実に資するものなので、導入・実施の検討を進めたいと思います。</p> <p>広報広聴委員会では 8 つにも及ぶ事業概要を教えていただきました。一般市民向けの議会報告会を止め、団体等との意見交換会に移行したことについても、今後の安中市議会の議会報告会を進めていく上で参考にしていきます。</p> <p>予算決算の常任委員会については、安中市議会とはかなり異なる制度であり、慎重に検討する必要がありますが、常任委員会にする目的や運営方法などはとても参考になりました。 (記事担当 小林克行)</p>

視察内容【2日目】	
視察自治体	滋賀県彦根市
視察項目	議会改革について
概要	<p>安中市議会では、より開かれた議会を目指すため、令和5年度より議会改革推進特別委員会を設置し、議会報告会や意見交換会、ICTを活用した情報発信など様々な改革に取り組んでいます。この流れを止めることなく進めていくためには、先進自治体の取り組みを知ることはとても重要です。彦根市議会では、議会基本条例のもと、子ども議会や大学との連携などに取り組んでおり、安中市議会の議会改革推進の参考になると考え、行政視察をさせていただきました。</p>
説明内容	<p>○議会改革の取り組みについて</p> <p>【行政視察を受け入れる際の視察対応について】 平成28年度までは副議長が挨拶をしてすぐに退室し、その後は事務局が説明をするだけだった。</p> <p>しかし、→議員の生の声や事務局には話せない内容も重要！</p> <p>→それ以降は、正副議長経験者が幹事となって「視察対応プロジェクトチーム」を設置し、議員が対応するようになった。 →コロナ禍の影響もあり、現在は議会改革特別委員会で対応している。</p> <p>【市民アンケート】 平成24年に議会基本条例を制定するにあたり、「議会に関する市民アンケート」を実施 期間：平成24年1月10日～31日 対象：住民基本台帳から無作為抽出の3,000世帯 回答率：35.4% 主な意見：市議会に関心が無い 市民との対話の場がない 議員の活動内容がわからない 議員の資質向上を など</p> <p>【広報広聴への取り組み】 基本条例に基づき、全議員が参加する<u>3つの広報広聴に関する委員会</u>を設置 「議場開放促進委員会」8人 ・議場コンサート、子ども議会、中・高・大学生傍聴 「広報委員会」8人 ・市議会だより編集 「広聴委員会」8人 ・議会報告会</p> <p>【子ども議会】 目的：小学生が政治への関心を高め、社会参画への意欲を培う 対象：小学6年生 体制：執行部・教育委員会・議会</p>

<p>役割：市議会…運営全般 教育委員会…市内 17 小学校との連絡調整、子ども議員の補助 市…答弁作成、本番での答弁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前研修会…8月（夏休み中） 子ども議員選出書面交付式 質問の仕方、質問書の作り方について（議員から説明） 質問内容の決定、質問の作成 ・リハーサル…一週間前 議長選出、議席決定、議場入場、デモンストレーション、リハーサル、議会ツアーアンケート ・本番…11月 集合写真撮影 開会 第1グループ 8人×5分 第2グループ ツ 第3グループ ツ 閉会 ※議員は市長提示の手伝いなど、裏方としてサポート <p>▶子ども議会議員提案例 ・彦根城を世界中の人達への PR 活動 小学6年生で世界遺産登録を進めるチームをつくり、パンフレットを作成する等 →副市長答弁…小学生にも彦根城のパンフレットやポスターの作成に取り組んで もらえるよう検討します。</p> <p>効果：子ども議員だけでなく、親や親戚等の参観もあり、議会や市政をより身近なものにすることことができた。</p> <p>課題：少子化、習い事の多様化 →子ども議会の「見える化」が重要 →子ども議会紹介動画を作成した。</p> <p>【議会基本条例の検証】 議会基本条例に基づき、年1回以上検証をしている。</p> <p><検証方法> ・評価は数値による5段階評価として案を作成する ・3を基準「現状維持」とし、5・4が「できている」、2・1が「できていない」 ・平均点を出し、2以下の項目に取り組む ・「評価の理由」の記載は絶対事項 ・追加項目を想定し、自由記述欄を設ける。</p> <p><効果> 「議員間討議」「議会図書室」の取り組みが弱いことが浮き彫りになった！ ・議員間討議を実施 令和4年3月 予算常任委員会において 令和4年3月 企画総務消防常任委員会において ・議会図書館の充実 令和2年度25冊購入 3年度64冊購入 4年度40冊購入 ※2年間で104冊の増加 貸出期間 図書 7日→14日 雑誌 3日→ 7日</p>

【大学連携】

平成29年8月1日

滋賀大学経済学部と協定締結

目的：地方自治および地域社会の活性化と地域における人材育成に寄与すること

協力事項：①滋賀大学経済学部における教育・研究活動の充実・発展に資する事業
②彦根市議会における広報・広聴活動等、活動の充実・発展に関する事業

事業の沿革

令和元年▶事務局職員が講義

議会改革特別委員会とグループワーク

福祉病院教育常任委員会とグループワーク

広報委員会が講義

学生が議会を傍聴

学生が議会報告会に参加

令和2年▶事務局員が講義

議員3名が講義（議員の日常や彦根市のビジョン、成功事例等）

議員4名が学生とグループワーク

（コロナ禍における大学生活の課題、改善等）

学生8名が議員8名に、政治家を目指した理由等について取材→冊子作成

令和3・4年▶滋賀大学（全学部）と新たに協定を結ぶ

議会報告会で学生が進行を務める

☆市議会議員インターンシップ

夏季休業期間中に、3名の学生を受け入れ

5人の議員が学生を1~2名受け持つ

学生は議員の活動を体験する

（議会、地域活動、市民相談、会合やイベントへの出席）

→学生の声：現場において課題把握の大変さや成果が見えづらく
取り組みの難しさを実感した。



哲学対話（議会報告会）の様子
ひこね市議会だより第164号より

令和5年▶滋賀大学の講義「哲学対話」と連携した

新たな議会報告会を3回実施

以下のテーマを議員と大学生が意見交換

①「自分が“選ぶ”とはどういうこと？」

②「みんなの幸せと自分の幸せ」

③「私たちはどう生きるか」

令和6年▶市議会議員インターンシップ

<大学連携の効果と課題>

○効果

- ・学生の参画→普段の議員活動では出会えない新たな視点の発見
- ・学生の地方自治、議会への興味が高まる→地域創生を担う人材の育成

○課題

- ・学生の力を借りる、意見交換をするという取り組みにとどまっていた。
- ・大学の専門性を議会活動に活かせるような取り組みの必要性

質疑応答

質) 市民アンケートの結果に対する結果として、大学との連携や子ども議会などを開催したと理解していいのでしょうか。

答) そう考えています。ただ、以前は広聴委員会で市民との話を聞くという事業をしていたが、参加者が集まりにくいということもあり、彦根ゆかたまつりの会場でテーマを決めてアンケートを実施したことがあります。

- 質) 子ども議会をやる上で、執行部や教育委員会との温度差はありましたか。また基本条例の精査について、議員間でも温度差はありましたか。
- 答) 子ども議会では、対象が小学生なので、中学生などに比べると負担は少ないと思います。このままの形で進めていくのかどうかは今後の課題です。

基本条例に関して温度差は確かにあります。



ゆかたまつりアンケート
ひこね市議会だより第167号より

質) 議員定数や報酬についての話し合いはしていますか。

答) 現在定数は24人です。ただ、地区代表の意味合いもあり簡単には難しい。報酬を上げようという話が出ていますが、市議選は毎回選挙が行われており、報酬を上げたから若い人が参加しやすくなるとは言えないと思います。外部の委員会で議論されており、定数削減について減らしてもいいが2人まで、報酬は1.5万から2万程度までという意見が出ています。

質) 今年の5月のアンケートの内容についてお聞きします。

答) 傍聴されたことあるか、議会報告会の開催を知っているか、などです。

質) ユーチューブチャンネルの本会議のライブ配信は業者委託していますか。

答) 執行部が運営しています。市議会のチャンネルは別にあり、編集した会議内容をアップしています。

質) 広報広聴の組織の委員はどのように決めていますか。

答) 会派での話し合いで決めています。

質) 子ども議会について、再質問もあるという事ですが、事前通告をしていますか。

答) していません。アドリブです。

質) 子ども議会は議場開放促進委員会が担当しているが、それ以外の議員は関わらないのでしょうか。

答) 関わらないです。

質) 基本条例の検証について、「年一回の見直し」そのものを変えるという議論はありませんでしたか。

答) そのような意見は出ていませんでした。

委員長所見

彦根市議会では議会基本条例を制定するにあたり市民アンケートを実施したそうです。安中市議会ではすでに基本条例は制定済みですが、アンケート調査は行っていません。現在、議員によって基本条例にのっとった活動の精査をしているところですが、市民目線による評価はとても重要であり、今後のアンケート調査の必要性を強く感じました。

子ども議会については、安中市では近年開催していませんが、将来、再び開催する際の参考になりました。

大学との連携について、その連携の効果を説明していただきました。安中市には大学はありませんが、行政としては、同志社大学や高崎商科大学との連携協定を結んでいます。市議会としても近隣自治体に設置されている大学等との連携の図る必要性を感じました。今後の検討課題としたいと思います。(記事担当 小林克行)

視察内容【3日目】	
視察自治体	滋賀県近江八幡市市
視察項目	議会カフェについて
概要	安中市議会では、平成31年5月に「議会基本条例」を制定し、この条例に基づき令和5年度より「議会報告会」を開催しています。年2回の開催で合計4回実施しました。意見交換では多様な意見の収集ができましたが、参加者が少なかったことは大きな課題です。また、会場も大きく、参加した市民の方も発言がしづらいようでした。今後も議会報告会を開催するうえで、近江八幡市の取り組みが参考になると考え、行政視察をさせていただきました。
説明内容	<p>【担当】 広報広聴委員会…副議長が委員長 議会改革特別委員会の委員長 広報広聴委員会は「議会だよりグループ」「議会報告会グループ」に分かれている。</p> <p>1, これまでの議会報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度からスタート 平成22年に合併し、議会改革のムードが高まり、基本条例を制定。それに合わせて23年度にスタート。平成23-27年度までは10小学校区にコミュニティーセンターがあり、その単位で開催していた。 ▶高齢男性が九割以上、議会に対して言いたいことがある人が多かった。特定議員のつるし上げするような報告会の回もあった。 ▶若者、女性の政治参加、政治から遠い人にお伝えしたいというところから、議会改革特別委員会主導で見直しを進め、平成27年度にやり方を変更した。 平成28-30年度は近江八幡総合福祉センターでの開催となった。 ▶テーマを決めての開催に変更。前段で防災について講師を招き、その後ディスカッションを行った。 3年で区切りをつけて、新しい形を模索し始めた。 <p>2, 令和元年の議会報告会</p> <p>議会に関心を持ってもらうこと、幅広く市民の声を聴くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味がない方にも知りたいということで、人の集まる場所に議会報告会をもっていく形で開催方法を変更した。 ▶商業施設「イオン」にお願いして喫茶（ドリンクお菓子を準備）・キッズスペースを設置、スライドの投影、シールアンケートなどを催事場の一角で実施。反省点は山ほどあった。報告はスライドだけでいいのか、シールアンケートの結果をどう扱うかなどなど。ただ、課題点はポジティブなものが多く、前向きなものとなった。 <p>3, 令和2年度の議会報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍に突入し、ターゲットを市内の中学生に絞り、質問をもらい、回答を

	<p>Youtube に配信する方法をとった。</p> <p>4, 令和 3 年度の議会報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続いたが、市内の公園で子育て世帯を中心にシールアンケートを実施。 <p>5, 令和 4 年度の議会報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅や商業施設の前で常任委員会からの報告、シールアンケートを実施。 <p>6, 令和 5 年度の議会報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設での開催復活、吹き抜けの休憩スペースでカフェコーナーやシールアンケート、国スポもあり、スポーツ体験コーナーを設けた。 <p>7, 令和 6 年度の議会報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>オープニングイベント</u>を開催。市内の障がい者ダンス団体で盛り上がる。 ・国スポの缶バッジづくりの<u>クラフトコーナー</u>を設置 ・委員長報告が原稿を読むだけになってという部分もあった。 ・一方、産業建設常任委員会では、<u>パネルディスカッション</u>を開催し、盛り上がったという意見があった。 ・議員が自分の意見を伝えられる場でないと、議員のイメージを市民に伝えられない。 <p>8, 令和 7 年度の議会報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の供用開始と併せて見学ツアーを計画 ・中学校の吹奏楽部にオープニングを依頼 ・住みたいまちランキングアップ大作戦としてタウンミーティングを開催 ・議会だよりのシールアンケートも実施
質疑応答	<p>質) 商業施設を借りる時の具体的な金額は。</p> <p>答) 無償。選挙時も投票場として貸出してくれる。</p> <p>質) 議員間の温度差はあるか。</p> <p>答) ある。</p> <p>質) 準備期間はどれくらいか</p> <p>広報広聴委員会が立ち上るのは 6 月議会後。その後毎月打ち合わせをする。</p> <p>質) 今後への意見は。</p> <p>答) 昨年はアンケート作り忘れた。報告会タイムはつまらないとの意見は現地で聞いた。基本的には好意的な意見が多かった。議員自身はやりがいを感じている。課題としては、アンケートをしっかりと、改善していきたい。シールアンケートも政策提言につなげていきたいが、あくまでも Yes, No を決めてもらっているところなので、正直活用が難しい。</p> <p>質) パネルディスカッションで自由に発言したことについて、議員間の認識はどうだったのか。</p> <p>答) 自由な意見はだすべきだというものや会派の報告会などでやるべきだという意見</p>

	<p>もあり調整に苦慮した。委員会の中では、テーマに沿った話をしようという事前の打ち合わせは行った。</p> <p>質) 参加者層の分析などは行っているか。</p> <p>答) あくまで自由来館としている。報告タイムを全く聞いていない人もいるし、シールだけ貼ってという人もいる。参加の形式については、市民にゆだねている。</p>
委員長所見	<p>近江八幡市議会は議会報告会の開催にあたり、様々な工夫をしていることがわかり、とても実りのある研修となりました。「商業施設での開催」「オープニングイベント」「タウンミーティング」「シールアンケート」など、安中市議会では取り組んでいない事項ばかりで、報告会の内容改善・工夫の必要性を強く感じました。今後の参考とさせていただきます。(記事担当 武者葉子)</p>